



pdfFactory3

-Standard/Pro/ServerEdition-

ユーザーマニュアル

FinePrint 及び pdfFactory は米 FinePrint Software 社の製品名です。

株式会社 NSD は日本総代理店です。

その他、記載されている会社名、ブランド名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本マニュアル内での表記について

- (Pro のみ) と記載がある項目は、pdfFactory Pro でのみ使用可能な機能です。
- (SE のみ) と記載がある項目は、pdfFactory ServerEdition でのみ使用可能な機能です。
- Windows (OS) の項目は、「Windows 7 での名称 (Windows XP での名称)」を記載しています。
例 : デバイスとプリンター (プリンタと FAX)

目次

第1章	はじめに.....	2
第2章	使用方法.....	6
第3章	セットアップタブ.....	7
第4章	メトリックスタブ.....	9
第5章	画像設定タブ.....	10
第6章	プレビュータブ.....	11
第7章	ジョブミニタブ (PROのみ).....	14
第8章	スタンプミニタブ (PROのみ).....	16
第9章	フォームミニタブ (PROのみ).....	20
第10章	しおりミニタブ (PROのみ).....	22
第11章	フォントタブ.....	24
第12章	文書情報タブ.....	26
第13章	アクロバット ビューワ オプション (PROのみ).....	27
第14章	セキュリティタブ.....	30
第15章	リンクタブ.....	32
第16章	しおりタブ (PROのみ).....	34
第17章	設定タブ.....	36
第18章	バージョン情報タブ.....	44
第19章	サーバーエディション.....	45
第20章	ライセンスタブ (SEのみ).....	47
第21章	ライセンスコード登録 (SEのみ).....	51
第22章	表示設定 (SEのみ).....	52
第23章	その他の情報.....	54

第1章 はじめに

<機能概要>

アプリケーションから pdfFactory へ印刷するだけで、簡単に PDF ファイルを作成することができます。各機能の詳細については、各説明の最後に記載してありますページを参照してください。

主な機能	説明
まとめ変換	複数の文書、異なるアプリケーションからの印刷ジョブを蓄積し、まとめて1つの PDF ファイルに変換することができます。
プレビュー表示	プレビュー表示（標準/100%/150%/200%/400%）して、細かな部分をチェックすることができます。また、プレビュー表示をしないように設定することもできます。（12 ページ）
ページ編集	プレビュー上で不要なページ削除、まとめ変換で蓄積した複数ジョブから任意のジョブを削除することができます。また、削除したページ・ジョブを削除前の状態に戻すこともできます。（13 ページ）
フォント埋め込み	PDF ファイルに埋め込む/埋め込まないフォントを指定することができます。（25 ページ）
文書情報設定	PDF ファイルの概要としてタイトル・サブタイトル・作成者・キーワードを設定することができます。（27 ページ）
セキュリティ設定	パスワードなどのセキュリティ設定をすることができます。 また、印刷・編集操作などの制限も可能です。（31 ページ）
URL リンク設定	URL 文字列に対して自動的にリンクを設定することができます。 また、URL 文字列の色やアンダーラインの設定も可能です。（33 ページ）
画像設定	モノクロ/カラー画像のダウンサンプル、JPEG 画像を圧縮して PDF ファイルに変換することができます。（10 ページ）
PDF 表示	PDF 閲覧ソフト（Adobe Reader 等）がインストールされている場合、PDF ファイルに変換後すぐに変換した PDF ファイルを表示することができます。（12 ページ）
メール送信	電子メールソフトがインストール・設定されている場合、PDF ファイルへ変換後、メールに PDF ファイルを添付して送信することができます。（12 ページ）
印刷	pdfFactory に出力した文書をプリンタに出力することができます。（12 ページ）
履歴保存	作成した PDF ファイルを自動的に履歴保存先として指定したフォルダに保存することができます。（12 ページ）

FinePrint 形式保存	FinePrint 形式 (拡張子 : fp) でファイルを保存できます。FinePrint がインストールされている場合、fp ファイルをダブルクリックすると FinePrint が起動し、印刷することができます。(12 ページ)
スタンプ (Pro のみ)	ヘッダー、フッターおよび背景文字を作成・付加することができます。また、ユーザー名、日付、時刻、ページ番号などを付加することもできます。(17 ページ)
フォーム (Pro のみ)	フォーム (例 : 会社ロゴや会社名) を作成し、アプリケーションから出力した文書にフォームを重ねて PDF ファイルに変換することができます。(21 ページ)
しおり (Pro のみ)	しおりを手動作成または自動生成することができます。PDF ファイル閲覧時に「しおり」をクリックすると該当ページへ移動します。(35 ページ)
表示設定 (Pro のみ)	普段使用しないタブやボタンを pdfFactory Pro のダイアログ (操作画面) に表示しないようにカスタム設定することができます。(39 ページ)
ライセンス管理 (SE のみ)	ライセンス登録や、pdfFactory を使用しているユーザーの管理をすることができます。(48 ページ)
機能制限 (SE のみ)	クライアントが使用する pdfFactory の機能制限を一括して行うことができます。(53 ページ)

<動作環境>

サーバー : Windows Server 2003 / Server 2008 (Server Edition のみ)

クライアント : Windows XP / Vista / 7

※ 32bit / 64bit-OS に対応しています。

※ インテル Itanium プロセッサには対応していません。

注意事項 :

- ・ PDF ファイルを表示するためには、PDF 閲覧ソフトが必要です。
- ・ PDF ファイルをメール送信するためには、MAPI 対応の電子メールソフトがインストールされていて、正しく設定されている必要があります。

<インストール>

インストーラ (exe ファイル) を実行するとインストールすることができます。

インストールが完了すると「pdfFactory」という (仮想的な) プリンタが作成され、お使いのアプリケーションから「pdfFactory」プリンタへ印刷するだけで簡単に PDF ファイルへ変換することができます。

※ インストール時は、Administrator 権限で行ってください。

※ アンチウイルスソフト等の常駐プログラムはすべて停止してください。

<アンインストール>

アンインストール (削除) するときは、以下の方法で行ってください。

1. [コントロールパネル] → [プログラムと機能 (プログラムの追加と削除)] より「pdfFactory」を削除 (アンインストール) します。
2. [ドキュメント (マイドキュメント)] → [PDF ファイル] を削除します。
3. コンピュータを再起動します。

<ライセンスコード登録>

試用版をインストールされた場合は、ライセンスコード登録を行うことで製品版としてお使いいただけます。

- pdfFactory (通常版)

ライセンスコード登録は、[スタート] → [デバイスとプリンター (プリンタと FAX)] → [pdfFactory] を右クリック → [印刷設定] → [バージョン情報] タブにて、[ユーザー名 (任意)]、[ライセンスコード] を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

- pdfFactory (サーバーエディション)

ライセンスタブにてライセンスコードを登録することで製品版としてお使いいただけます。詳細につきましては、「第 21 章 ライセンスコード登録 (SE のみ)」をご参照ください。

<試用版制限>

pdfFactory 試用版で作成された PDF ファイルには、下端に「この PDF は pdfFactory / pdfFactory Pro 試用版で作成されました www.nsd.co.jp/share/pdfact」と試用版で作成されたことを示す文章が記述されます。ライセンスコードを登録することによって、本文章が記述されなくなります。

※ 試用版 / 製品版の機能の違いはございません。

第2章 使用方法

pdfFactory はプリンタドライバとして動作します。

文書を PDF ファイルへ変換するには、文書をアプリケーションで開き、pdfFactory へ印刷します。

印刷する際、印刷先のプリンタ名に「pdfFactory/pdfFactory Pro」を選択してください。

印刷を行うと pdfFactory のダイアログ（操作画面）が表示されます。

注意事項：

pdfFactory のダイアログが他のアプリケーションのウィンドウの背後に隠れてしまった場合、

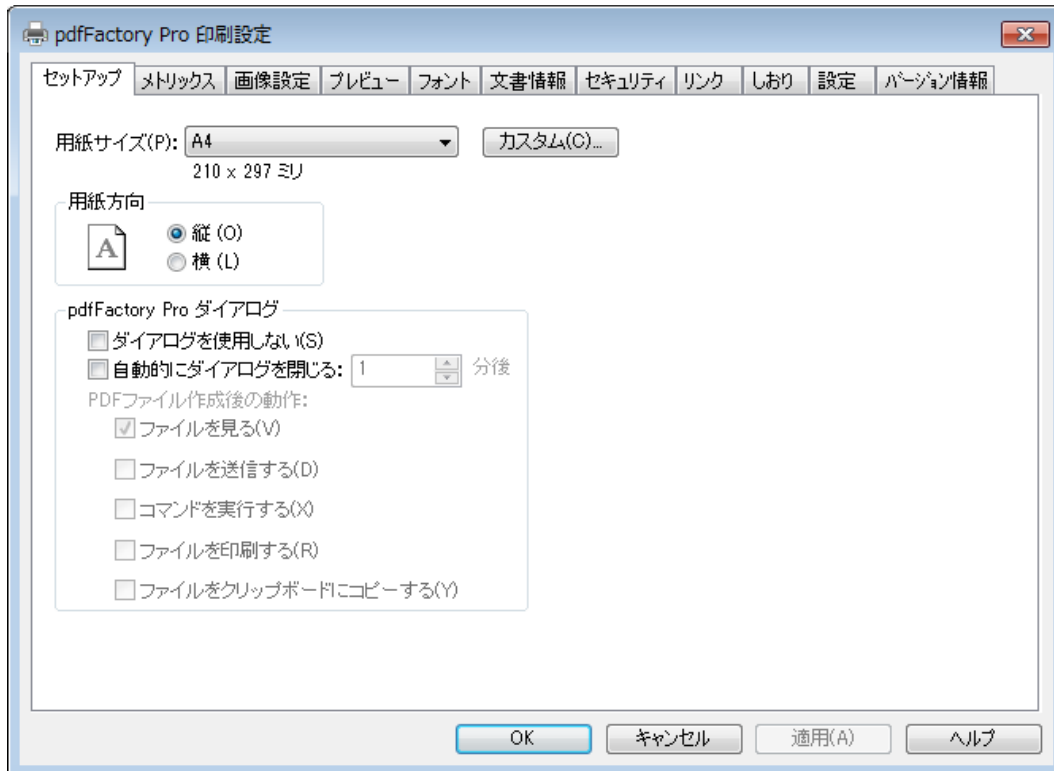
タスクバーの「pdfFactory」をクリックしてください。



ダイアログの各項目については、次章以降をご覧ください。

第3章 セットアップタブ

セットアップタブでは、pdfFactory を使用する際の基本的な設定を行います。



<用紙サイズ>

印刷対象のサイズを指定します。

[カスタム] をクリックすると、「ユーザー定義用紙サイズ」を作成することができます。

作成した用紙サイズの削除方法：

1. 上記画面で削除したい [用紙サイズ] を選択し、[カスタム] をクリックします。
2. [削除] をクリックします。

<用紙方向>

印刷対象の用紙の向き（縦／横）を指定することができます。

<ダイアログを表示しない>

pdfFactory のダイアログを表示しないようにします（プレビュー非表示）。

<自動的にダイアログを閉じる>

pdfFactory のダイアログを指定した時間が経過後に自動的に閉じるようにします。
ダイアログが閉じるまでは通常通り操作ができます。

<PDF ファイル作成後の動作>

ダイアログが閉じられると、自動的に指定した動作が行われます。

「ダイアログを使用しない」または「自動的にダイアログを閉じる」設定を使用する場合、以下の「PDF ファイル作成後の動作」を指定します。

- ファイルを見る

PDF 閲覧ソフトを起動し、作成された PDF ファイルを表示します。

- ファイルを送信する

電子メールソフトを起動して、作成された PDF ファイルを送信します。

「ファイルを送信する」にチェックをすると表示される「電子メール設定」ボタンをクリックし、送信する際の設定を行います。

(詳細は、「第 17 章 設定タブ」を参照してください。)

- コマンドを実行する

指定したコマンド (exe/bat/cmd/com/lnk/pif) を実行する。

「コマンドを実行する」にチェックをすると表示される「参照」ボタンをクリックし、該当コマンドを選択します。

- ファイルを印刷する

「印刷設定」にて指定したプリンタに出力します。

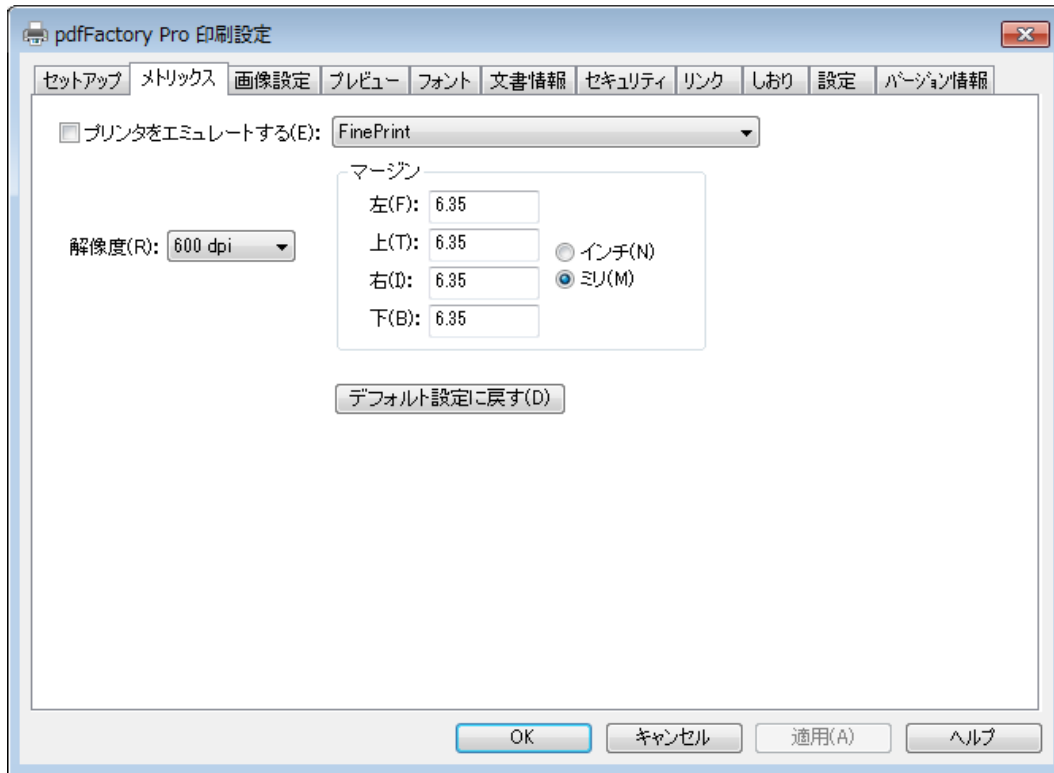
「ファイルを印刷する」にチェックをすると表示される「印刷設定」ボタンをクリックし、出力先プリンタを選択します。

- ファイルをクリップボードにコピーする

印刷文書内容をクリップボードにコピーします。

第4章 メトリックスタブ

メトリックスタブでは、解像度およびマージン（余白）の設定を行います。



<プリンタをエミュレートする>

指定したプリンタの用紙サイズや解像度をエミュレートします。

<解像度>

pdfFactory プリンタの解像度を設定します。

<マージン>

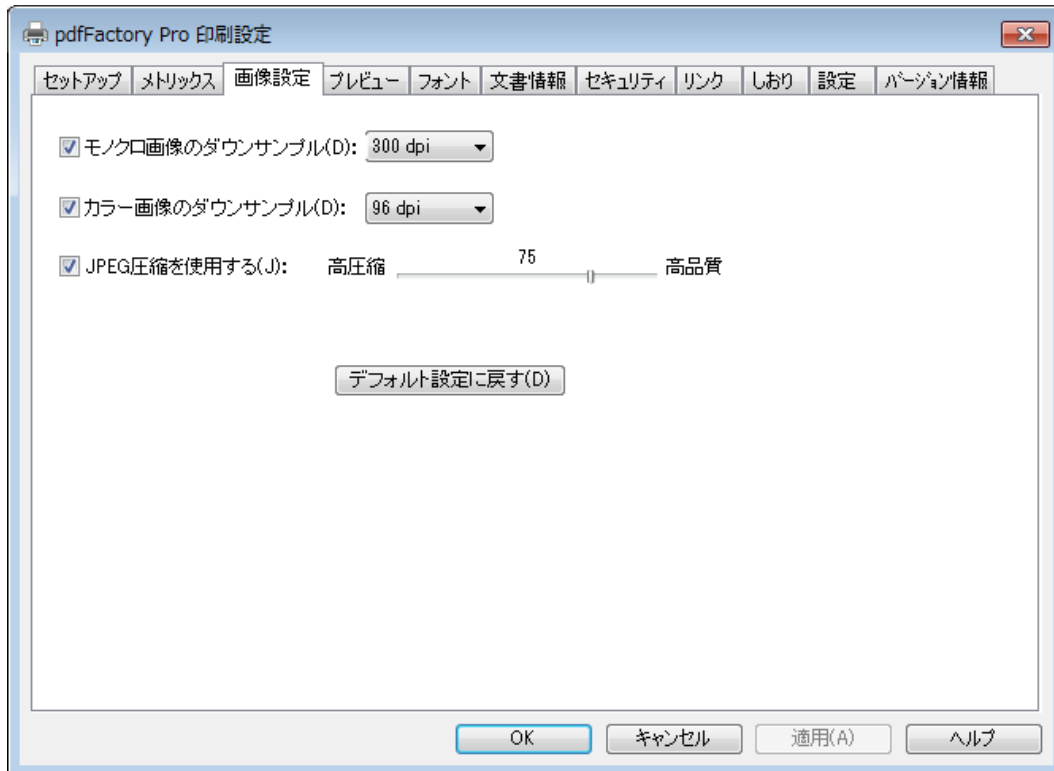
用紙の端からの余白部分（印刷不可領域）のサイズを指定します。

注意事項：

マージンのサイズが大きい場合、プレビューが白紙状態のように表示されてしまう現象が発生します。これは用紙の端からの余白が大きいので、実際に印刷される範囲にまで余白が適用されてしまうことにより発生します。

第 5 章 画像設定タブ

画像設定タブでは、PDF ファイル作成時の画像についての設定を行います。



<モノクロ画像のダウンサンプル>

印刷対象に含まれているモノクロ画像データの解像度を落として PDF 変換します。

<カラー画像のダウンサンプル>

印刷対象に含まれているカラー画像データの解像度を落として PDF 変換します。

<JPEG 圧縮を使用する>

画像データを圧縮して PDF 変換します。

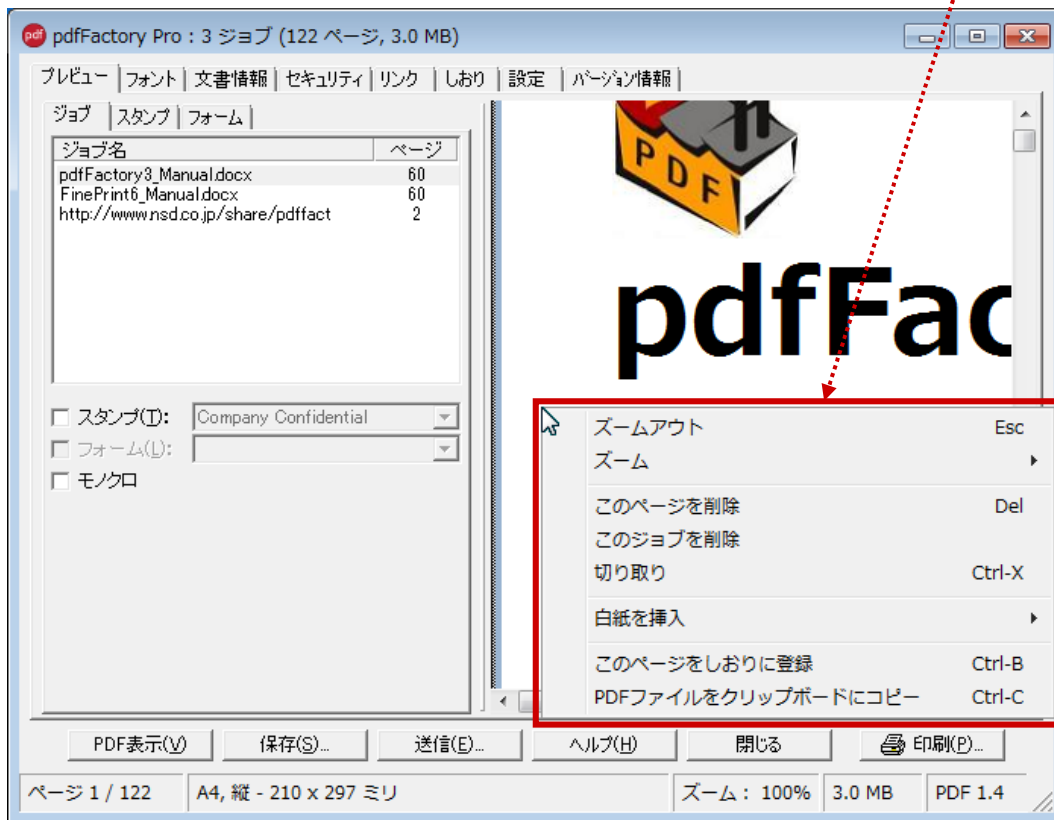
<デフォルト設定に戻す>

画像設定タブ内のすべての設定を初期設定に戻します。

第6章 プレビュータブ

pdfFactory へ印刷を行うと、pdfFactory の「プレビュー」ダイアログが表示されます。プレビューダイアログが表示されると共にバックグラウンドで PDF ファイルへの変換処理が行われています。（ここではテンポラリフォルダ上で PDF ファイルへの変換を行っています。）

ショートカットメニュー（右クリック）



<ジョブミニタブ (Pro のみ) >

印刷したジョブが表示されます。（詳細は「第7章 ジョブミニタブ」を参照してください。）

<スタンプミニタブ (Pro のみ) >

スタンプを作成します。（詳細は「第8章 スタンプミニタブ」を参照してください。）

<フォームミニタブ (Pro のみ) >

フォームを作成します。（詳細は「第9章 フォームミニタブ」を参照してください。）

<しおりミニタブ (Pro のみ) >

しおりを PDF ファイルに設定します。（詳細は「第10章 しおりミニタブ」を参照してください。）

<PDF 表示>

PDF 閲覧ソフトを起動し、テンポラリフォルダに出力された PDF ファイルを表示します。

<保存>

PDF 形式（拡張子：pdf）または FinePrint 形式（拡張子：fp）で保存できます。

FinePrint 形式で保存すると「fp」という拡張子で保存されます。このファイルをダブルクリックすることで FinePrint が起動され、再度印刷を行うことができます。

<送信>

電子メールソフトを起動して、変換後の PDF ファイルを送信します。

<ヘルプ>

オンラインヘルプを表示します。

<閉じる>

pdfFactory ダイアログを閉じます。

<印刷>

印刷をします。

<ショートカットメニュー>

プレビュー画面上で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

- ズームアウト

プレビュー表示を拡大する前の元の表示に戻します（ズームしているときのみ表示）。

- ズーム

サブメニューにて拡大率（100%/150%/200%/400%）を選択することができます。
また、プレビュー画面上でダブルクリックすることで拡大表示することもできます。

- 元に戻す

一つ前に行った操作を行う前の状態に戻します。

- このページを削除

クリックしたページを削除します。

ショートカットメニュー、または切り取りたいページを選択して「Delete」キーを押すことで削除することもできます。

- このジョブを削除

クリックしたページを含むジョブを削除します。

- 切り取り

クリックしたページを切り取ります。

「Ctrl」 + 「x」 キーを押すことで切り取ることもできます。

- 貼り付け

切り取ったページを貼り付けます。

サブメニューにて貼り付ける箇所(このページの前/このページの後)を選択することができます。

「Ctrl」 + 「v」 キーを押すことで貼り付けることもできます。

- 全部復活

削除したページ、ジョブおよび切り取ったページのすべてを元に戻し、pdfFactory に出力したままの状態に戻します。

- 白紙を挿入

白紙のページを挿入します。

サブメニューにて白紙を挿入する箇所(このページの前/このページの後)を選択することができます。

- このページをしおりに登録

しおりを手動で作成します。(詳細は「第 16 章 しおりタブ」を参照してください。)

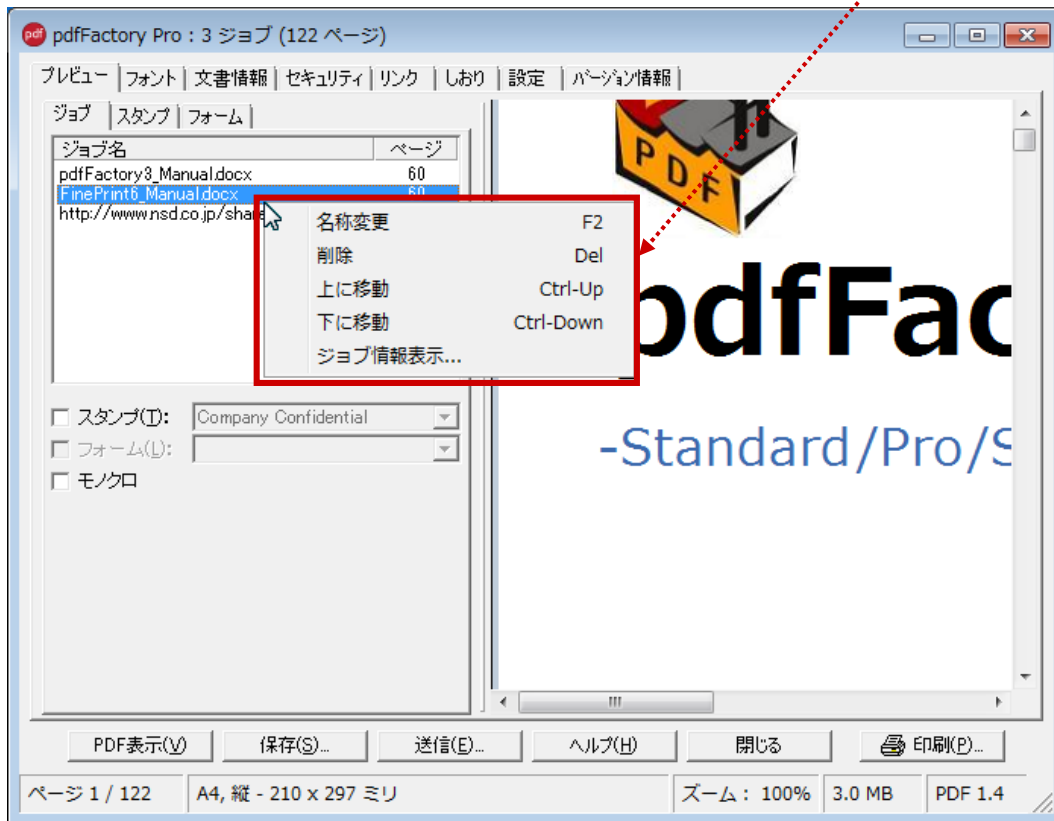
- PDF ファイルをクリップボードにコピー

PDF ファイルをクリップボードにコピーします。

第7章 ジョブミニタブ (Pro のみ)

ジョブミニタブではジョブ名称の変更、ジョブの再配列、ジョブの削除を行うことができます。ジョブリスト欄には、pdfFactory に出力した各ジョブ名とページ数が表示されます。

ショートカットメニュー (右クリック)



<スタンプ>

スタンプミニタブにて作成したスタンプを選択することができます。

<フォーム>

フォームミニタブにて作成したフォームを選択することができます。

<モノクロ>

印刷するジョブをすべてモノクロに変更します。

<ショートカットメニュー>

各ジョブ名上で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

- 名称変更

ジョブ名を変更します。

- 削除

ジョブを削除します。

ショートカットメニュー、または削除したいジョブを選択して「Delete」キーを押すことで削除することもできます。

- 上に移動

選択したジョブを一つ前のジョブの前に配置します。

- 下に移動

選択したジョブを一つ後ろのジョブの後ろに配置します。

- 全部復活

削除したページ、ジョブおよび切り取ったページのすべてを元に戻します。

- ジョブ情報表示

選択したジョブに関する情報を表示します。

- ジョブの移動

移動させたいジョブ名を選択してドラッグ&ドロップすることにより、任意の場所に移動させることができます。

第8章 スタンプミニタブ (Pro のみ)

スタンプミニタブでは文書に付加するスタンプを作成することができます。

スタンプとは、アプリケーションから出力する内容のほかにヘッダー、フッターおよび背景文字（透かし文字）を追加する機能です。スタンプを使用するためには、先ずスタンプの作成を行います。

スタンプを作成するためには [新規] ボタンをクリックし、各項目の設定を行います。

ショートカットメニュー (右クリック)



<テキスト>

スタンプの挿入箇所、フォント等、スタンプに関する基本設定を行います。

- ヘッダー

ヘッダー部分にスタンプを挿入します。

- 背景文字

背景文字を挿入します。

- フッター

フッター部分にスタンプを挿入します。

- フォント

挿入するテキストのフォントを設定します。

- マクロ変数挿入

スタンプにマクロ変数（文字列）を設定することで、該当する値（項目）を文書に付加することができます。

以下の文字列を設定することができます。（下記のすべての“<” および “>” は半角文字です。）

マクロ変数	説明
<日付>	実行日付（例：2008/01/01）
<時刻>	実行時刻（例：00：00：00）
<ページ番号>	ページ番号
<全ページ番号>	全体のページ数
<ページ / 全ページ番号>	ページ番号 / 全体のページ数
<ユーザー名>	pdfFactory を使用しているログオンユーザー名
<ジョブ名>	印刷ジョブ名
<コンピュータ名>	pdfFactory を使用しているコンピュータ名
<OS名>	pdfFactory を使用している OS 名
<改行>	テキストを改行する。<改行>を使うことにより、ヘッダー、背景文字、フッターを複数行にすることができます。
<左側> <中央> <右側>	スタンプの配置を設定します。 このマクロに続く文字列、マクロが「左詰め／中央揃え／右詰め」のいずれかで出力されます。 例：左詰めで日付、右詰めで時刻を付加したい場合 <左側><日付><右側><時刻>

- 角度

背景文字の角度を設定します。

- 濃さ

背景文字の濃さ（0%～100%）を設定します。

<適用>

スタンプの適用箇所の設定を行います。

- スタンプ付加

スタンプを付加するページを設定します。

- 先頭ページのみ

先頭ページだけにスタンプを適用します。

- 各ページ

各ページにスタンプを適用します。

- 開始ページ

スタンプの適用する最初のページを指定します。（各ページを指定した場合のみ有効になります）

<ページ番号>

ページ番号を付加するための設定を行います。

- 先頭ページ番号

最初のページ番号を設定します。

例：

1 ページ目を 2 ページとすることができます。

- ページ番号桁数

ページ番号の前に“0”を付加します。

例：

3 と指定した場合、1 ページ目は“001”と 3 桁表示になります。

- ジョブ毎にページ番号を付加

このチェックボックスにチェックをしない場合、まとめ変換した文書すべてのページにページ番号の連番が付加されます。

このチェックボックスにチェックをした場合、ジョブ毎にページ番号をリセットします。

<ショートカットメニュー>

各スタンプ名の上で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

- 名称変更

スタンプの名称を変更します。

- 削除

スタンプを削除します。

削除したいスタンプを選択して「Delete」キーを押すことで削除することもできます。

- コピーを作成

スタンプのコピーを作成します。

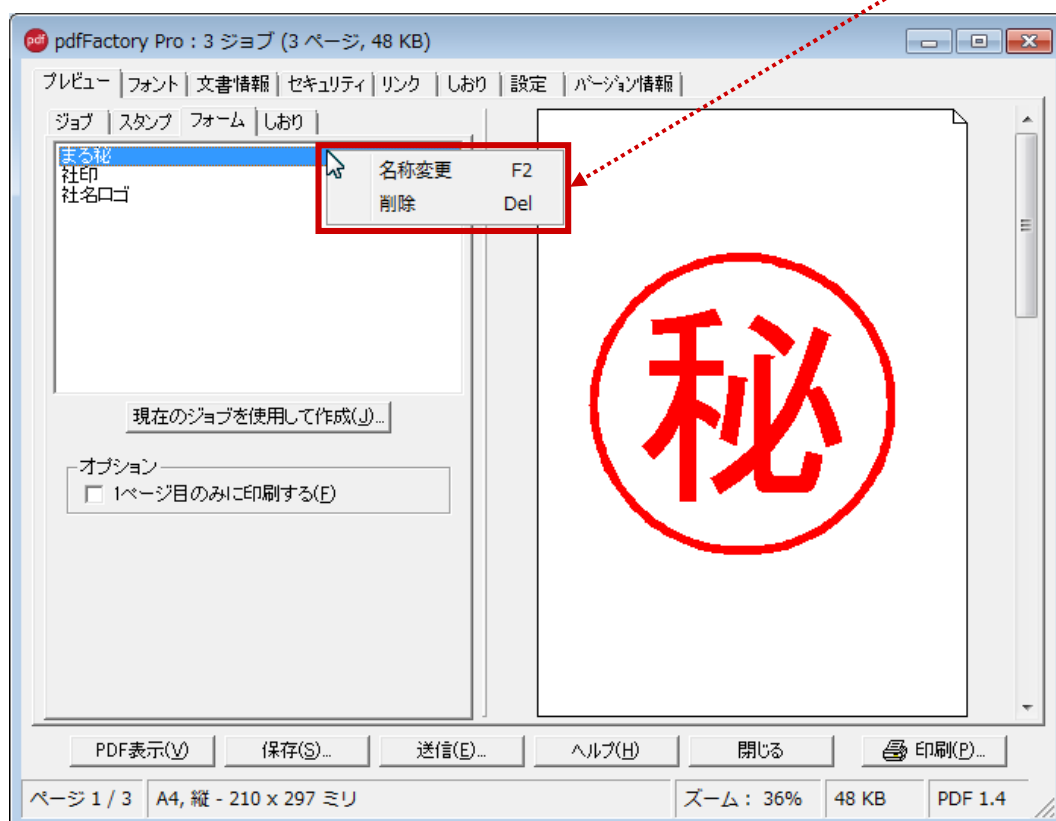
第9章 フォームミニタブ (Pro のみ)

フォームミニタブでは、文書に付加するフォームを作成することができます。

フォームを作成すると、どのアプリケーションからの印刷に対してもフォームを重ねて PDF ファイルを作成することができます。

フォームを作成するためには [現在のジョブを使用して作成] ボタンをクリックします。

ショートカットメニュー (右クリック)



<オプション>

フォームの適用方法を設定することができます。

以下の4つの設定項目がありますが、文書のページ数等により表示されない項目があります。

- 1 ページ目のみに印刷する

文書の1ページ目のみにフォームを付加します。

- 最初のフォームページは繰り返さない

複数ページを印刷する場合、フォームの1ページ目は繰り返さず2ページ目以降のみ繰り返し付加します。

例：フォームが5ページ、文書が10ページの場合

5ページ目まではフォームが順に重なり、6ページ目以降はフォームの5ページ目が重ねて印刷されます。

- 常にフォームを全体に適用する

毎回フォームを文書全体に付加します。

例：フォームが5ページ、文書が2ページの場合

2ページ目まではフォームが重なり、3ページ目以降はフォームのみ印刷されます。

- 複数ページのフォームをシミュレートする

フォームをページ全体に付加します。

例：フォームが5ページ、文書が10ページの場合

5ページ目まではフォームが順に重なり、6ページ目以降はフォームの5ページ目が重ねて印刷されます。

<ショートカットメニュー>

各フォーム名の上で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

- 名称変更

フォームの名称を変更します。

- 削除

フォームを削除します。

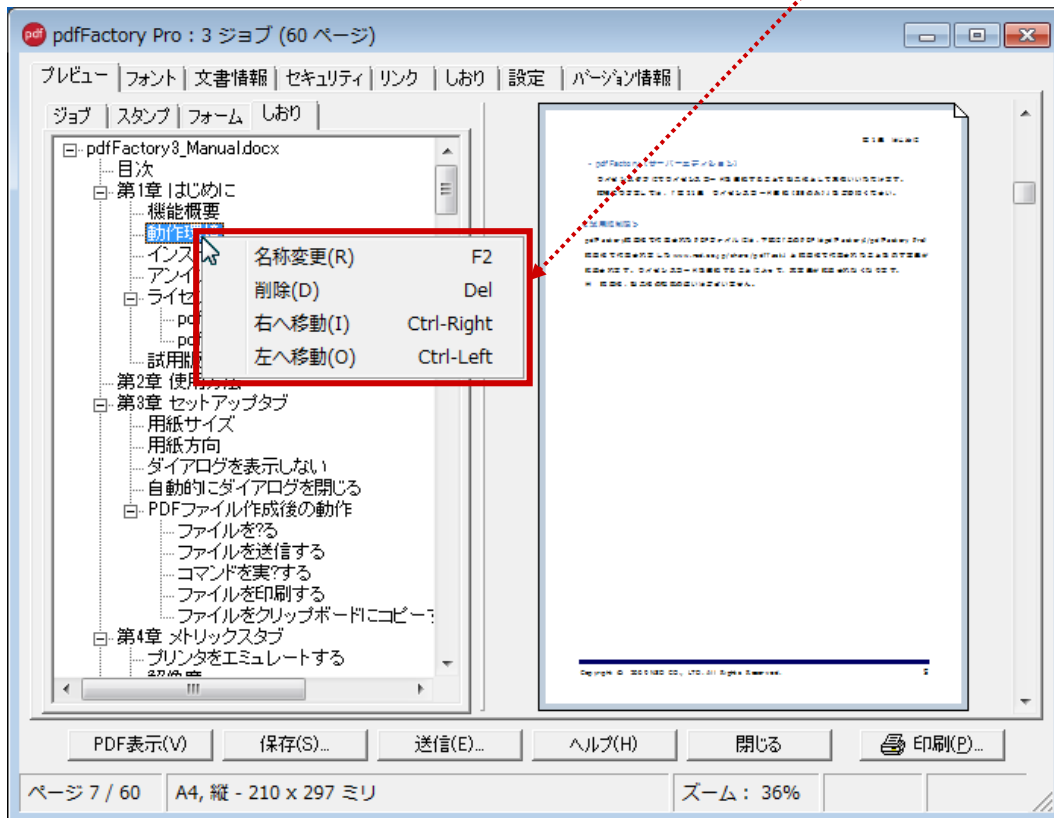
(ショートカットメニュー、または削除したいフォームを選択して「Delete」キーを押すことで削除することもできます。)

第 10 章 しおりミニタブ (Pro のみ)

しおりタブでしおりを作成すると、プレビュータブに「しおりミニタブ」が表示されます。

(しおりの作成については、「第 15 章 しおりタブ」を参照してください。)

ショートカットメニュー (右クリック)



<ショートカットメニュー>

各しおり名の上で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

- 名称変更

しおり名を変更します。

- 削除

しおりを削除します。

削除したいスタンプを選択して「Delete」キーを押すことで削除することもできます。

- 右へ移動

選択したしおりを階層の下層へ移動します。

- 左へ移動

選択したしおりを階層の上層へ移動します。

- しおりの移動

移動させたいしおり名を選択してドラッグ&ドロップすることにより、任意の場所にしおりを移動させることができます。

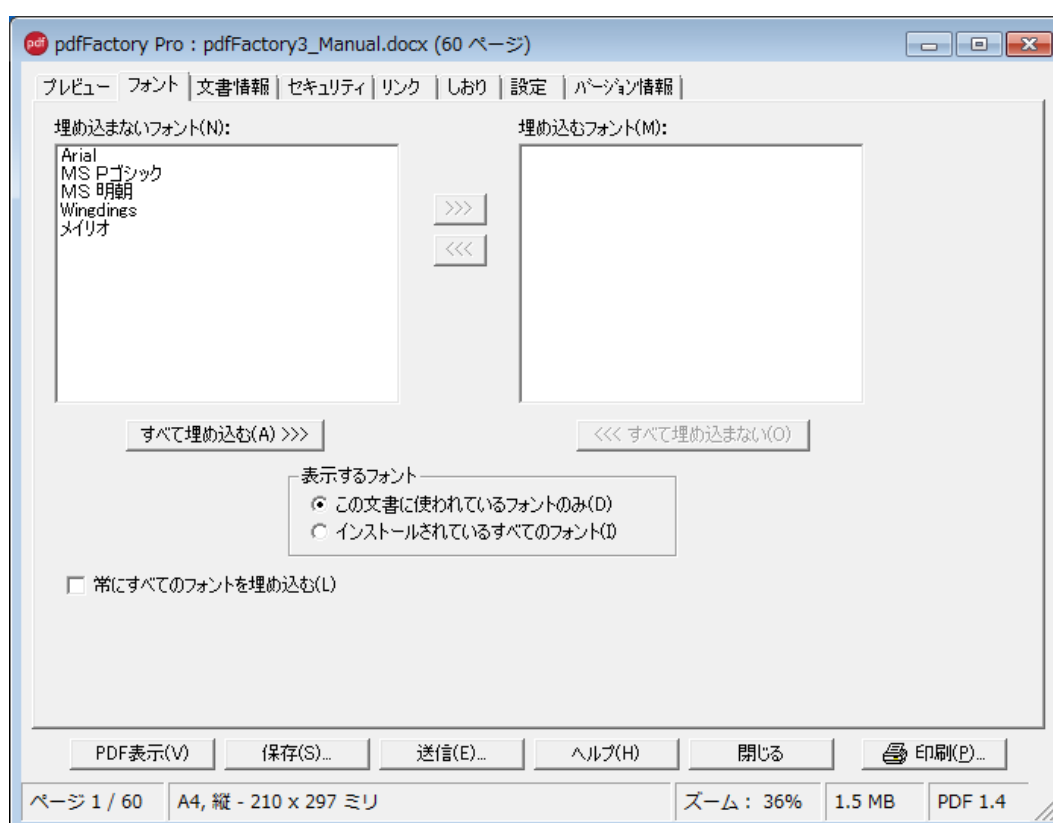
第 11 章 フォントタブ

フォントタブでは、PDF ファイルへフォントを埋め込むことができます。

フォントを埋め込むことにより、該当フォントがインストールされていない PC 上でも正しく PDF ファイルを閲覧することができます。

Windows 標準のフォントを使用している場合は、フォントを埋め込む必要はありません。

特殊なフォントを使用している場合は、フォントを埋め込むことを推奨します。



<埋め込まない／埋め込むフォント>

PDF ファイルにフォントを埋め込まない／埋め込むフォント一覧が表示されます。

[埋め込まないフォント] 欄に表示されているフォントを選択して [>>>] ボタンをクリックすると [埋め込むフォント] 欄にフォント名が移動し、該当フォントは PDF ファイルに埋め込まれます。

<すべて埋め込む>

埋め込まないフォント一覧に表示されているフォントを埋め込むフォント一覧に移動し、すべてのフォントを PDF ファイルに埋め込みます。

<すべて埋め込まない>

埋め込むフォント一覧に表示されているフォントを埋め込まないフォント一覧に移動し、すべてのフォントを PDF ファイルに埋め込まないようにします。

<表示するフォント>

埋め込む／埋め込まないフォント一覧に表示するフォントを選択します。

- この文書に使われているフォントのみ

pdfFactory に出力されているすべての文書内で使用されているフォントを一覧に表示します。

- インストールされているすべてのフォント

OS にインストールされているすべてのフォントを一覧に表示します。

<常にすべてのフォントを埋め込む>

印刷する度に文書に使用されているすべてのフォントを PDF ファイルに埋め込みます。

第 12 章 文書情報タブ

文書情報タブでは、PDF ファイルの文書情報を設定することができます。

また、Pro 版では PDF ファイルを開くときのオプション（アクロバット ビューワ オプション）を設定することができます。（詳細は「第 13 章 アクロバット ビューワ オプション」を参照してください。）



<タイトル>

作成する PDF ファイルのタイトルを設定します。

<サブタイトル>

作成する PDF ファイルのサブタイトル（他の PDF ファイルと共通した情報等）を設定します。

<作成者>

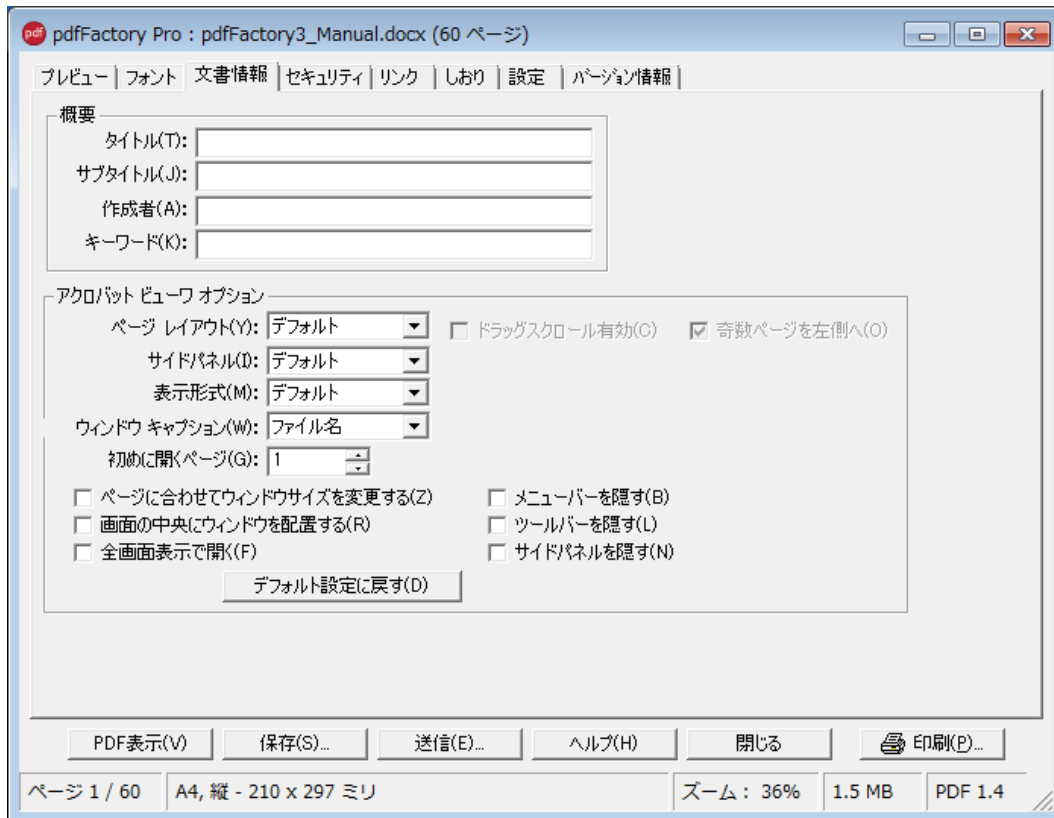
作成する PDF ファイルの作成者を設定します。

<キーワード>

作成する PDF ファイルに含まれている重要な語句等を設定します。

第13章 アクロバット ビューワ オプション (Proのみ)

アドビ アcrobat ビューワ オプションでは、PDF ファイルを開覧するときのオプションを設定することができます。



<ページレイアウト>

PDF ファイルを開いたときのレイアウト (デフォルト/1 ページ/2 ページ) を選択します。

- ドラッグスクロール有効

ファイルの下部まで滑らかにスクロールします。

この機能は、1 ページ/2 ページを選択した場合に選択することができるようになります。

- 奇数ページを左側へ

奇数ページを左側へレイアウトし表示するようにします。

この機能は、2 ページを選択した場合に選択することができるようになります。

<サイドパネル>

PDF ファイルを開いたときのサイドパネル表示（デフォルト/しおり/サムネイル/レイヤ）を選択します。

<表示形式>

PDF ファイルの表示形式（幅に合わせる/高さに合わせる/ページに合わせる/各倍率/カスタム）を選択します。

- カスタム

任意の表示倍率を設定します。

- コンテンツのみ調整する

画面サイズに合わせて拡大/縮小し、各表示形式（幅/高さ）に合わせて PDF ファイルを表示します。

この機能は、幅に合わせる/高さに合わせる/ページに合わせるを選択した場合に選択することができるようになります。

<ウィンドウ キャプション>

PDF ファイルを開いたときのタイトルバーの表示（ファイル名/タイトル名）を選択します。

<初めに開くページ>

PDF ファイルを開いたとき、初めに表示するページを指定します。

<ページに合わせてウィンドウサイズを変更する>

PDF ファイルを開くとき、ページサイズに合わせてウィンドウのサイズを変更し表示します。

<画面の中央にウィンドウを配置する>

PDF ファイルを開くとき、PDF 閲覧ソフトのウィンドウを画面中央に表示します。

<全画面表示で開く>

PDF ファイルを開くとき、PDF 閲覧ソフトを全画面で表示します。

<メニューバーを隠す>

PDFを開いたとき、PDF閲覧ソフトのメニューバーを表示しないようにします。

<ツールバーを隠す>

PDFを開いたとき、PDF閲覧ソフトのツールバーを表示しないようにします。

<サイドパネルを隠す>

PDFを開いたとき、PDF閲覧ソフトのサイドパネルを表示しないようにします。

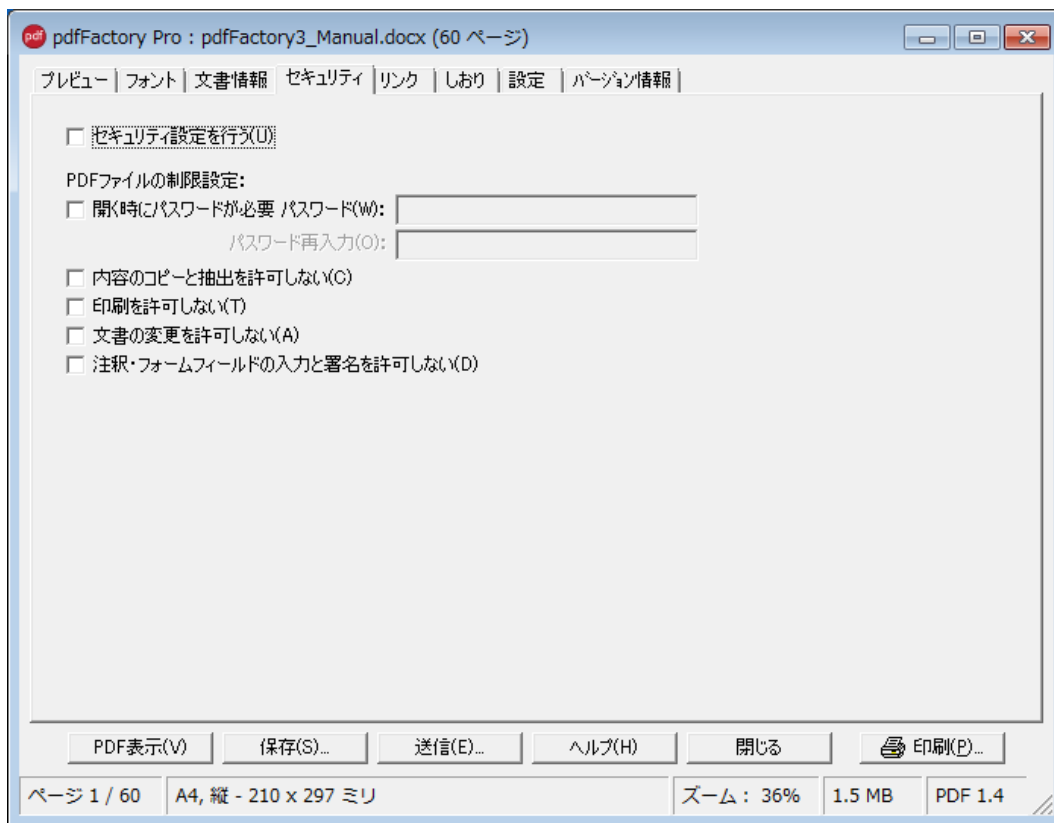
注意事項：

「しおり」を作成した場合、この設定を使用すると「しおり」が表示されなくなります。

第 14 章 セキュリティタブ

セキュリティタブでは、セキュリティ設定を行うことができます。

[セキュリティ設定を行う] のチェックボックスにチェックをすると、PDF ファイルにセキュリティ設定を行うことができます。



<開くときにパスワードが必要>

PDF ファイルにパスワードを設定し、PDF ファイルを開くときに、パスワードを要求するようにします。

注意事項 :

設定されているパスワードの推定、特定したりすることは不可能なことではありません。

なるべく長くて複雑なパスワードを設定することをお勧めします。

<内容のコピーの抽出を許可しない>

PDF ファイル内のテキストや画像をクリップボードにコピーできないようにします。

<印刷を許可しない>

PDF ファイルを印刷できないようにします。

<文書の変更を許可しない>

PDF ファイルの編集をできないようにします。

<注釈・フォームフィールドの入力と署名を許可しない>

注釈及びフォームフィールドを作成できないようにします。

<マスターパスワード>

マスターパスワードを設定します。

マスターパスワードとは、セキュリティ設定を変更する際に必要となるパスワードです。

この設定を行うためには、「設定タブ」にて [セキュリティタブでマスターパスワード設定を有効にする] にチェックをしてください。チェックをすることで、本機能が有効になります。

注意事項：

Adobe Acrobat 等で PDF ファイルのセキュリティ設定を変更する場合に、マスターパスワードが必要となります。

第 15 章 リンクタブ

リンクタブでは、文書内の URL 文字列に対して自動的に URL にリンクを設定することができます。リンクを設定することにより、文字列をクリックすると特定の URL を表示することができます。

[URL を自動的に PDF リンクへ変換する] のチェックボックスにチェックをすると、「リンクの表示」オプションが表示され、リンクの設定を行うことができます。



リンクの設定を有効にすると、pdfFactory は下記の文字列が文書中にある場合、その文字列に対してリンク設定を行います。

※ 複数行にわたる URL 文字列には対応していません。

- <http://>
- <ftp://>
- <mailto:>
- www.domain.*
- name@domain.*

<リンクの表示>

PDF ファイル中のリンク設定されている文字列は下線や枠線付きで表示されます。この表示方法に関して以下の 3 つの項目を設定することができます。

- 枠線

URL 文字列に枠線（なし／下線／枠線）を付けます。

- 線種

URL 文字列に線（実線／点線）を付けます。

- 太さ

URL 文字太さ（細線／普通／太線）を選択します。

- 色を設定

URL 文字列に色を付けます。

[選択] ボタンをクリックすると「色の設定」ダイアログが表示されます。このダイアログから色を選択または作成し追加することができます。

第 16 章 しおりタブ (Pro のみ)

しおりタブでは、PDF ファイルに「しおり」を付与するための設定をします。

しおりが付与された PDF ファイルを開くと、文書の左側に「しおり」と呼ばれる目次を表示することができます。しおりは特定の箇所へのリンクになっており、しおりをクリックすることにより対応した特定の箇所へ移動することができます。



<「しおり」の階層を展開して表示する>

PDF ファイルを開いたとき、しおりの階層をすべて展開して表示するようにします。

<PDF へ自動的に「しおり」を付与する>

pdfFactory Pro に対して印刷をした印刷ジョブにしおりを自動生成 (/付与) します。

- 各印刷ジョブへ「しおり」を付与する

印刷ジョブ毎にしおりを付与します。

- 文書中の見出し文字を自動的に検出して「しおり」を付与する

文書中使用されているフォントスタイル（フォント名/サイズ/フォント飾り）より、自動的にしおりを付与します。

[見出しのフォーマット] にてどのフォントスタイルに対してしおりを付与するかを指定します。

注意事項：

この機能を使用する場合、予めアプリケーションにて文書中のしおりを付与したい見出しのテキストのフォントスタイルが統一されている必要があります。

<見出しのフォーマット>

しおりを付与するフォントスタイルの指定をします。また、定義した「見出しのフォーマット」を保存し、再利用することができます。

- レベル

設定したレベルに合わせて階層構造を持ったしおりを生成することができます。

- 文書中使用されているフォントのみ表示

レベル毎にフォントスタイルを指定する際に、文書中使用されているフォントスタイルのみがプルダウンメニューに表示されます。

この項目にチェックをしない場合、しおりを付与したい文字列のフォント名/サイズ/太字/斜体を手動で指定します。

- フォーマット保存

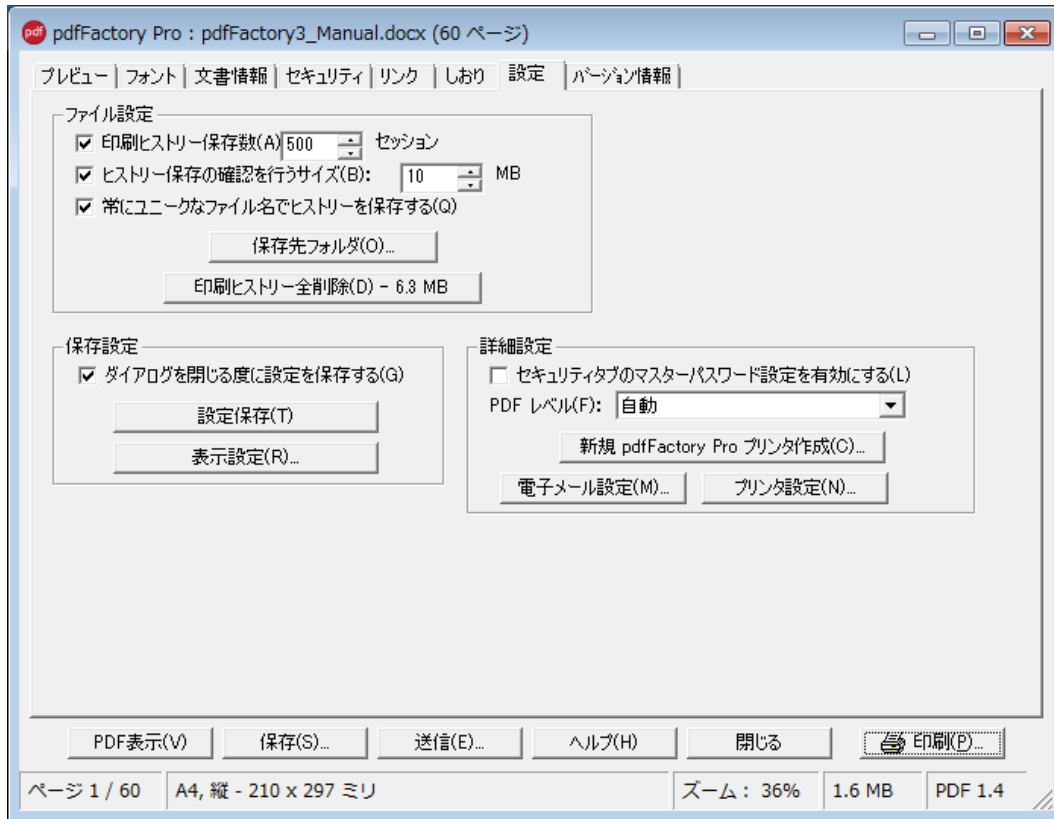
フォント形式（拡張子：fmt）で定義した「見出しのフォーマット」を保存します。

- フォーマット再読み込み

保存されている「見出しのフォーマット（拡張子：fmt）」ファイルを読み込みます。

第 17 章 設定タブ

設定タブでは、pdfFactory の基本設定を行います。



<ファイル設定>

PDF ファイル作成後に自動的に保存される履歴ファイルに関する設定をします。

- 印刷履歴保存数

履歴機能で保存するセッション（ファイル数）の最大値を指定します。

この数値以上になった場合は、古いものから順に上書きされます。

【履歴保存数】のチェックを外すと、自動的に履歴保存がされなくなります。

- 履歴保存の確認を行うサイズ

履歴機能で自動的にセッションを保存する際に、保存するサイズがここで指定した以上のサイズである場合、保存するかの確認をします。

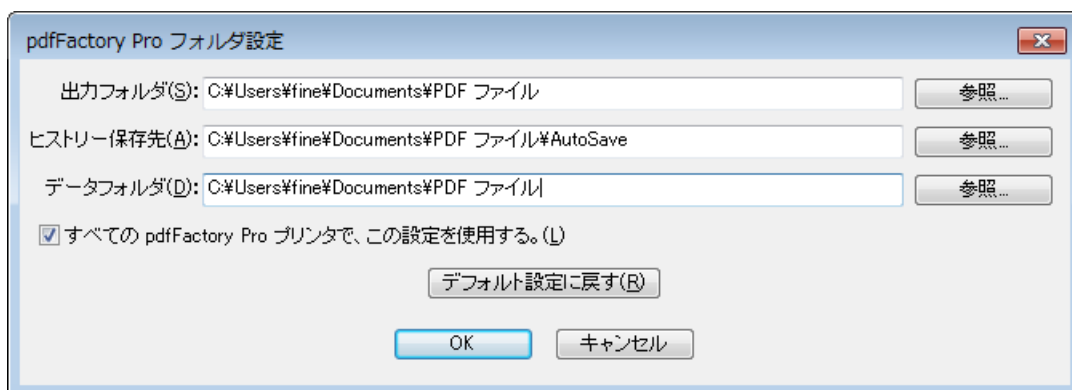
- 常にユニークなファイル名で履歴を保存する

同じ名称のファイルを印刷した場合、通常は履歴が上書きされてしまいますが、この設定を使用するとファイル名の後ろに通し番号が付与されて上書きされなくなります。

- 保存先フォルダ

履歴機能での保存先・ジョブ保存する場合の保存先を指定します。

(初回使用時に [ドキュメント (マイドキュメント)] → [PDF ファイル] フォルダが作成されます。)



-- 出力フォルダ

pdfFactory のジョブファイルが保存されるデフォルトの保存先フォルダを指定します。

-- 履歴保存先

pdfFactory で変換された PDF ファイルが自動的に保存されます。

- pdfFactory ダイアログを使用する場合 :
ダイアログ [保存] ボタンより任意の場所に保存した PDF ファイルとは別に自動的に同じ PDF ファイルが保存されます。
- pdfFactory ダイアログを使用しない場合 :
変換された PDF ファイルが自動的に保存されます。

-- データフォルダ

フォームファイルやステーショナリの設定情報が保存されます。

-- すべての pdfFactory Pro プリンタで、この設定を使用する。

それぞれの pdfFactory Pro プリンタに対して別々の保存先を指定します。

この機能は、複数の pdfFactory Pro プリンタが存在する場合に有効になります。

-- デフォルト設定に戻す

保存先フォルダの設定を初期設定に戻します。

- 印刷履歴全削除

履歴機能で「履歴保存先」フォルダに保存されている PDF ファイルをすべて削除します。

<保存設定>

pdfFactory の設定保存方法の設定をします。

- ダイアログを閉じる度に設定を保存する

印刷を行う際に設定された設定を印刷終了（ダイアログが閉じられる）時に保存し、次回印刷するときに同じ設定で印刷します。

[ダイアログを閉じる度に設定を保存する] のチェックを外すと、印刷を行う際に変更した設定はその場でのみ有効となり、次回印刷するときには変更前の設定となります。

- 設定保存

設定タブにて変更した内容を保存します。

- 表示設定 (Pro のみ)

通常使用しないタブやボタンを pdfFactory ダイアログに表示しないようにします。

非表示（通常使用しない）にする場合、非表示にしたい項目のチェックを外します。

<詳細設定>

pdfFactory（仮想プリンタ）のコピーの作成、電子メール、出力先プリンタの設定をします。

- セキュリティタブのマスターパスワードを有効にする

セキュリティタブにおいて、マスターパスワードの設定欄の非表示／表示（無効／有効）を指定します。

（マスターパスワードの詳細は、「第 14 章 セキュリティタブ」を参照してください。）

- PDF レベル（Pro のみ）

作成する PDF ファイルのフォーマット（PDF のバージョン番号）を以下の 4 つの項目から選択します。（PDF フォーマットは、バージョンにより使用できる機能が異なります。）

- ・ 自動
文書の内容方自動的に適切なバージョンの PDF ファイルを作成します。
- ・ 1.4
バージョン 1.4 の PDF ファイルを作成します。（Adobe Reader5 以上で表示可能）
- ・ 1.5
バージョン 1.5 の PDF ファイルを作成します。（Adobe Reader6 以上で表示可能）
- ・ PDF/A-1b
文書に使用されているすべてのフォントを埋め込み、セキュリティ設定を無効にしたバージョン 1.4 の PDF ファイルを作成します。

- 新規 pdfFactory Pro プリンタ作成 (Pro のみ)

pdfFactory Pro プリンタを新たに追加することができます。

[新規プリンタ pdfFactory Pro 作成] ボタンをクリックすると以下のダイアログが表示されます。

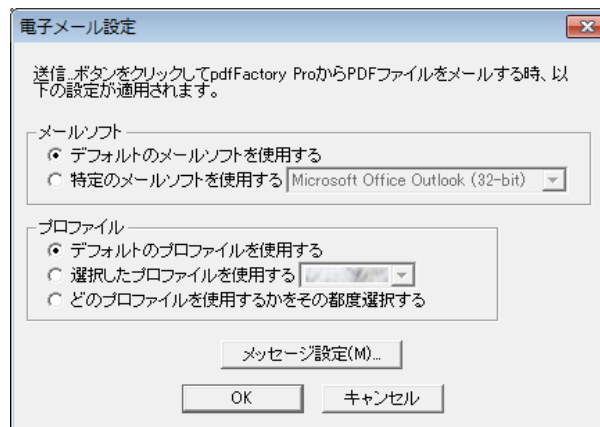


[プリンタ名] を入力し、[OK] をクリックすると pdfFactory プリンタが作成され、プリンター一覧に追加されます。

- 電子メール設定

作成した PDF ファイルを電子メールに添付して送信するときの設定をします。

pdfFactory ダイアログを使用せずに、自動的に電子メールに添付して送信する機能を使用する場合は、セットアップタブの「ファイルを送信する」を参照してください。



- メールソフト

電子メールを送信する際に使用するメールソフトを指定します。

-- デフォルトのメールソフトを使用する

既定の電子メールプログラムに設定されているメールソフトを使用します。

-- 特定のメールソフトを使用する

インストールされているメールソフト一覧から使用するメールソフトを選択します。

- プロファイル

電子メールを送信する際に使用するプロファイルを指定します。

-- デフォルトのプロファイルを使用する

既定に設定されているプロファイルを使用し、電子メールを送信します。

-- 選択したプロファイルを使用する

プルダウンメニューに表示されるプロファイルから使用するプロファイルを選択します。

-- どのプロファイルを使用するかを、その都度選択する

使用するプロファイルを印刷する毎に選択する。

- メッセージ設定 (Pro のみ)

作成した PDF ファイルを送信する際の宛先、メッセージを設定します。

メッセージ設定

宛先

TO(T):

CC(C):

BCC(B):

アドレス帳(A)...

メッセージ

件名(S):

メッセージ(M):

送信前にメッセージを見る(V)

デフォルト設定に戻す(L)

OK キャンセル

- TO

電子メールの送信先のメールアドレスを入力します。

- CC

送り先が複数あり、宛先以外に電子メールを送信したいメールアドレスを入力します。

- BCC

[宛先] や [CC] に指定した人には知られたくない送り先メールアドレスを入力します。
(BCC に入力した相手は、他の受信者には表示されません。)

- アドレス帳

既定に設定されているメールソフトのアドレス帳を表示します。

- 件名

電子メールの件名を入力します。

- メッセージ

電子メールの文章を入力します。

- 送信前にメッセージを見る

このチェックボックスにチェックした場合、電子メールを送信する前に送信する内容の確認をします。

このチェックボックスにチェックしない場合、内容の確認をせずに電子メールを送信します。

<プリンタ設定>

pdfFactory からの印刷先プリンタを指定します。



- プリンタ

一覧から印刷先プリンタを選択します。

- 詳細設定

印刷先プリンタに指定したプリンタの詳細設定をします。

- 部数

印刷枚数を指定します。

- 部単位で印刷

このチェックボックスにチェックした場合、部単位で印刷します。

このチェックボックスにチェックしない場合、ページ単位で印刷します。

- 印刷時、このダイアログを表示しない

印刷をする際に「印刷」ダイアログを表示しないようにします。

第 18 章 バージョン情報タブ

バージョン情報タブでは、pdfFactory のバージョンや製品版／試用版のどちらであるか等の情報を確認することができます。

以下の画面はライセンスコード登録後の表示です。

登録前（試用版）の場合は、[ユーザー名]、[ライセンスコード] 入力欄が表示されます。



第 19 章 サーバーエディション

サーバーエディションは、ネットワーク環境にて導入いただく場合の管理コスト軽減を目的とする機能を追加した製品です。pdfFactory の機能はそのままに、インストールおよびバージョンアップ作業の工数を大幅に軽減します。通常の PDF ファイル作成操作については通常版との違いはありません。ここでは、サーバーエディション特有の機能について記述します。

<クライアントサポート>

クライアント OS として Windows XP/Vista/7 をサポートします。

<インストール>

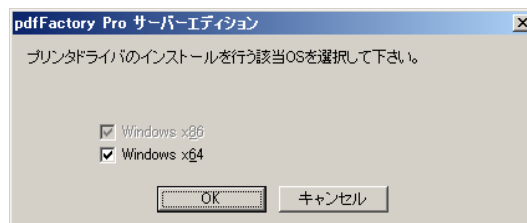
サーバーエディションをサーバーにインストールします。

サーバーにインストールすることにより、各クライアント PC はサーバーから簡単に pdfFactory をインストールすることができます。

- サーバーへのインストール

インストーラ（exe ファイル）を実行し、表示される指示に従いインストールを行います。

以下の画面では、pdfFactory をインストールするクライアントが使用している OS を選択します。



- クライアントへのインストール

プリンタ（プリンタと FAX）にある「プリンタの追加」ウィザードを使用し、サーバーの pdfFactory に接続します。または、サーバーの共有プリンタを選択してインストールします。

注意事項：

クライアントに既に通常版 pdfFactory がインストールされている場合は、アンインストールをしてからインストールを行ってください。

（アンインストール方法については、「第 1 章 はじめに」の「アンインストール」を参照してください。）

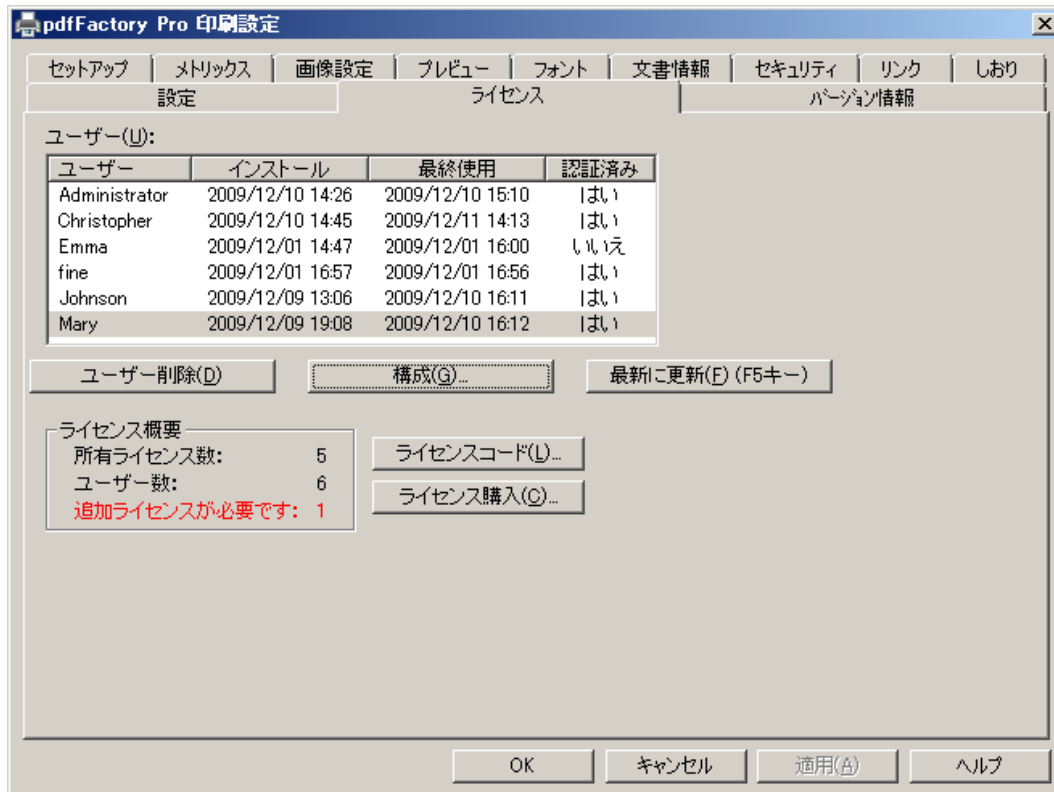
<自動アップデート>

サーバーに新しいバージョンの pdfFactory をインストールしたい場合、管理者はサーバーをアップデートするだけで済みます。

クライアントはクライアント OS 再起動時に新しいバージョンがインストールされたことを通知され、簡単に新しいバージョンへアップデートできます。

第 20 章 ライセンスタブ (SE のみ)

ライセンスタブでは、ライセンスの管理を行うことができます。



<ユーザー>

pdfFactory を使用しているクライアントの一覧が表示されます。

- ユーザー

pdfFactory を使用しているユーザー名が表示されます。

- インストール

サーバー上の pdfFactory SE をクライアント PC に追加した日時が表示されます。

- 最終使用

クライアントが pdfFactory を最後に使用した日時が表示されます。

- 認証済み

クライアントが使用している pdfFactory にライセンスコードが割り当てられているかの確認をすることができます。

-- はい

ライセンスが割り当てられています。クライアントが使用している pdfFactory は「製品版」です。

-- いいえ

ライセンスが割り当てられていません。クライアントが使用している pdfFactory は「試用版」です。

注意事項：

20 ライセンス分のライセンスコードを登録している場合、23 ユーザーが pdfFactory を使用すると 3 ユーザーの pdfFactory は「試用版」のままとなります。

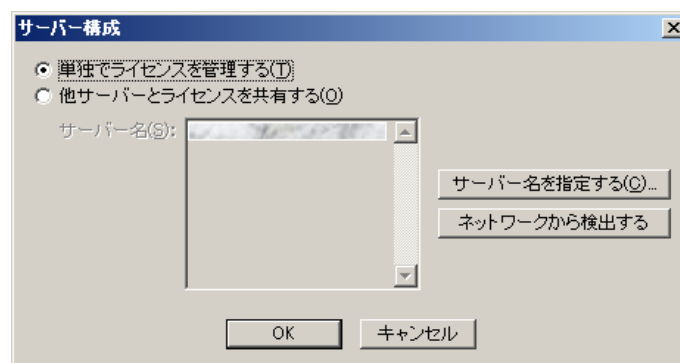
<ユーザー削除>

ユーザー一覧にて選択したクライアントを削除します。

削除したいユーザー名を選択して右クリック [ユーザー削除] または、「Delete」キーを押すことで削除することもできます。

<構成>

複数の pdfFactory SE を構成するときに使用します。



- 単独でライセンスを管理する

サーバー1 台でライセンスを管理します。

- 他サーバーとライセンスを共有する

ネットワーク内に複数の pdfFactory SE を構成されていて、複数サーバーでライセンスを共有したい場合に使用します。

-- サーバー名

複数サーバーで構成する場合、指定したサーバー名すべてが表示されます。

-- サーバー名を指定する

複数サーバーで構成する場合、直接サーバー名もしくは IP アドレスを指定します。

-- ネットワークから検出する

ネットワーク全体から pdfFactory SE サーバーを検出します。

注意事項：

大規模ネットワークにてご利用の場合、この機能を使うと大変時間が掛かりますのでご注意ください。

<最新に更新>

ユーザー一覧を更新します。

<ライセンス概要>

ライセンスの使用状況の確認ができます。

- 所有ライセンス数

登録したライセンスコードのライセンス数が表示されます。

- ユーザー数

pdfFactory を追加したクライアント数が表示されます。

- ライセンス使用可

pdfFactory を使用しているクライアントに割り当てられていないライセンス数が表示されます。

- 追加ライセンスが必要です

登録したライセンスコードのライセンス数よりも pdfFactory を使用しているクライアントの数が多いたとき、追加する必要のあるライセンス数が表示されます。

<ライセンスコード>

ライセンスコードの登録をします。

(ライセンスコード登録については、「第 21 章 ライセンスコード登録 (SE のみ)」を参照してください。)

<ライセンス購入>

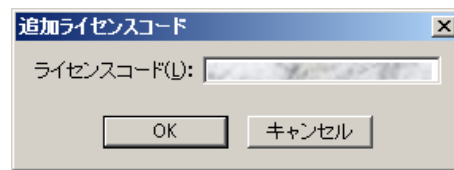
pdfFactory ご購入案内のための弊社ホームページが表示されます。

第 21 章 ライセンスコード登録 (SE のみ)

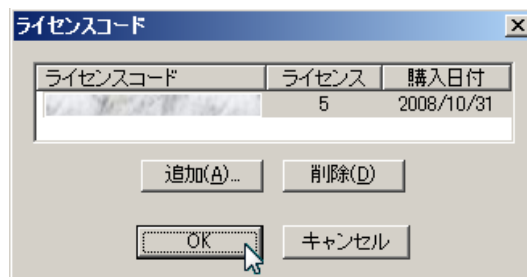
ライセンスタブの [ライセンスコード] ボタンから、ライセンスコードの新規登録および追加することができます。

<新規登録>

1. [ライセンスコード] ボタンをクリックすると以下の画面が表示されるので、ライセンスコードを入力し [OK] をクリックします。



2. ライセンスコード一覧が表示されますので、ライセンス数等を確認し [OK] をクリックします。



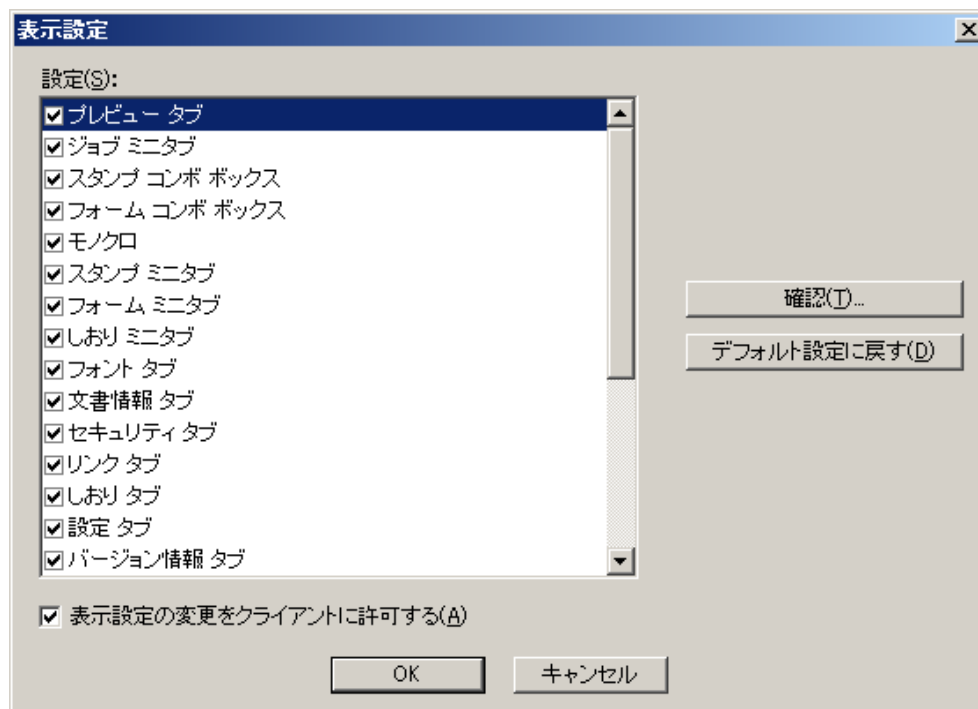
<追加登録>

1. [ライセンスコード] ボタンをクリックします。
2. [追加] をクリックします。
3. 追加するライセンスコードを入力し [OK] をクリックします。

第 22 章 表示設定 (SE のみ)

表示設定とは、クライアント PC (ユーザー) が使用する pdfFactory の機能をコントロールする機能です。

この機能は、[設定] タブ → [保存設定] → [表示設定] より行います。



<設定>

クライアントが使用する pdfFactory の機能制限を一括して行うことができます。

- チェックボックスにチェックをした場合

クライアントの pdfFactory の該当機能が表示され、使用できるようになります。

- チェックボックスのチェックを外した場合

クライアントの pdfFactory の該当機能が表示されなくなり、使用することができなくなります。

<確認>

機能制限を行った pdfFactory のダイアログを表示され、設定を確認することができます。

<デフォルト設定に戻す>

機能制限を行った pdfFactory の設定を初期設定に戻します。

<表示設定の変更をクライアントに許可する>

クライアントがプレビュー画面から表示設定の変更を行えないようにします。

第 23 章 その他の情報

- I pdfFactory の最新版、多機能印刷ソフト FinePrint 等、他製品や各種情報は弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.nsd.co.jp/share/>

- I 製品についてのお問い合わせは、下記のメールアドレスへお願いいたします。

pdfact@nsd.co.jp

- I メタフレーム環境での使用をご検討中の方は以下の点ご注意ください。

※ メタフレーム環境にてご使用の場合は、必ず pdfFactory SE を使用してください。

<Windows ターミナルサーバー及びメタフレーム環境でのサポートについて>

メーカー（米国 FinePrint 社）では、FinePrint/pdfFactory ServerEdition 製品の Windows ターミナルサーバー及びメタフレーム環境での動作をサポートしています。

また、導入の際には特別なセットアップの必要なくご使用いただけます。

但し、処理方法及び動作環境の違いにより何らかのトラブルが発生する場合がございます。

トラブルが発生した場合には、メーカーへ現象の報告を行いトラブル解消に向け努力しますが、改善をお約束するものではございませんので、ご購入いただく前に導入環境にて十分な動作確認を行ってください

<動作保証について>

弊社（株式会社 NSD）では、FinePrint 及び pdfFactory の動作をすべての環境で確認できていないため、動作の保証はしておりません。

ご購入いただく前に実際に使用する環境にて十分に動作確認を行ってからご購入ください。